

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月20日

事業所名 楽らく療養通所プルーンベリーハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		定められたスペースが確保されている。現在感染対策として利用者同士のスペース確保も行っており、周知していく	今後も継続する
	2	職員の配置数は適切である	9		児童指導員、看護師の加配加算を取得しており、毎日職員の勤務形態を記録して適切な運営を行っている。	今後も継続する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9		ワンフロアの開けた環境で、見渡しやすい、安全に配慮されており、手すり等の福祉用具、スロープにより、バリアフリー化されている	今後も継続する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	研修にて、実施している	PDCAサイクルの名称を使用し、再度研修内容の周知を図る
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		本事項について職員が理解できている。保護者から得られた意見を公開し、業務改善につなげている	今後も継続する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	本事項について職員が理解できている。	今後も継続していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4		第三者評価は行っていないが、評価結果をもとに業務改善を行う
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		外部研修を導入し、職員の資質向上に努めている	個別に資質向上のための研修計画を立案し、実施している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		定期的なアセスメントを行い、ニーズを分析し、同意が得られている。	今後も継続する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		契約時に当社のアセスメントシートに利用者、家族が記入し、活用されている	今後も継続する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	全職員から意見を集め、立案時に検討することが出来ている	今後も継続する
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2	全職員から意見を集め、立案時に検討することが出来ている	今後も継続し、再度本項の内容は職員に周知する機会を設け、周知させる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3	放課後等デイサービスのガイドラインに沿って計画を立案している。長期休暇時は時間数の増加に伴う課題を決めて支援を行っている	今後も継続する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	3	放課後等デイサービスのガイドラインに沿って計画を立案している。長期休暇時は時間数の増加に伴う課題を決めて支援を行っている	今後も継続する
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	毎日の朝礼で、本日の支援の確認、業務内容の打ち合わせを行っている	今後も継続する	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3	勤務にばらつきがあるため、朝礼時に振り返りを行っている。また、参加できない職員へ専用のノートを用いて共有を行っている。	今後も継続する
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		毎日支援について記録し、家族と共有して意見を交換している。	今後も継続する
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		定期的に予定を決めて、モニタリングを行っている。	今後も継続する
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って計画を立案し、支援を行っている	今後も継続する

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児童発達支援管理責任者が必ず参加している	今後も継続する
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		適宜、連携を行っている	今後も継続する
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9		適宜、連携を行っている	今後も継続する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3		対象者が存在しないため、実施なし。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5		対象者が存在しないため、実施なし。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5		適宜、連携を行っている。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8		現在感染症対策の為、外部との接触を行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	5		現在感染症対策の為、外部との接触を行っていない。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		専用のノートを設け、保護者と毎回意見、情報の交換を実施している	今後も継続する
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	1	個別に支援内容、支援方法を伝え、共有している。質問を受け、回答する。	ペアレントトレーニングの名称を周知させる	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に書面で順に説明し、理解されたか確認しながら進めていき、同意を得ている	今後も継続する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		支援ごとに、保護者と毎回意見、情報の交換を実施している。不安、意見等があった場合は直接話を聞いて、解決している	今後も継続する
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7		現在、感染症対策で実施していない。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		適宜行っている。解決までのフローチャートを作成し、取り組んでいる	今後も継続する
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	広報誌を年二回作成し、配布している。活動ごとに案内を行い、実施している	今後も継続する
	35	個人情報に十分注意している	9		個人情報は営業時間外は鍵付きのロッカーに保管し、施設外の持ち出しを禁止している	今後も継続する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		保護者と協力し、知識面、環境面で意思をくみ取れるよう工夫を行っている	今後も継続する
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		現在、感染症対策で実施していない。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1	各マニュアルを作成し、重要事項説明書に記載している。職員間で共有し、保護者からは同意を得ている	今後も継続する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年2回の訓練を実施している	今後も継続する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		すでに研修を実施しており、今後も定期的に行う予定である	今後も継続する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		規定があり、実施、職員への周知が出来ている	今後も継続する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	7		事業所で食べ物の提供はない。現状を職員に伝える機会を設け、周知させる
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有できている。また、定例会議において職員間で情報共有を行っている	今後も継続する